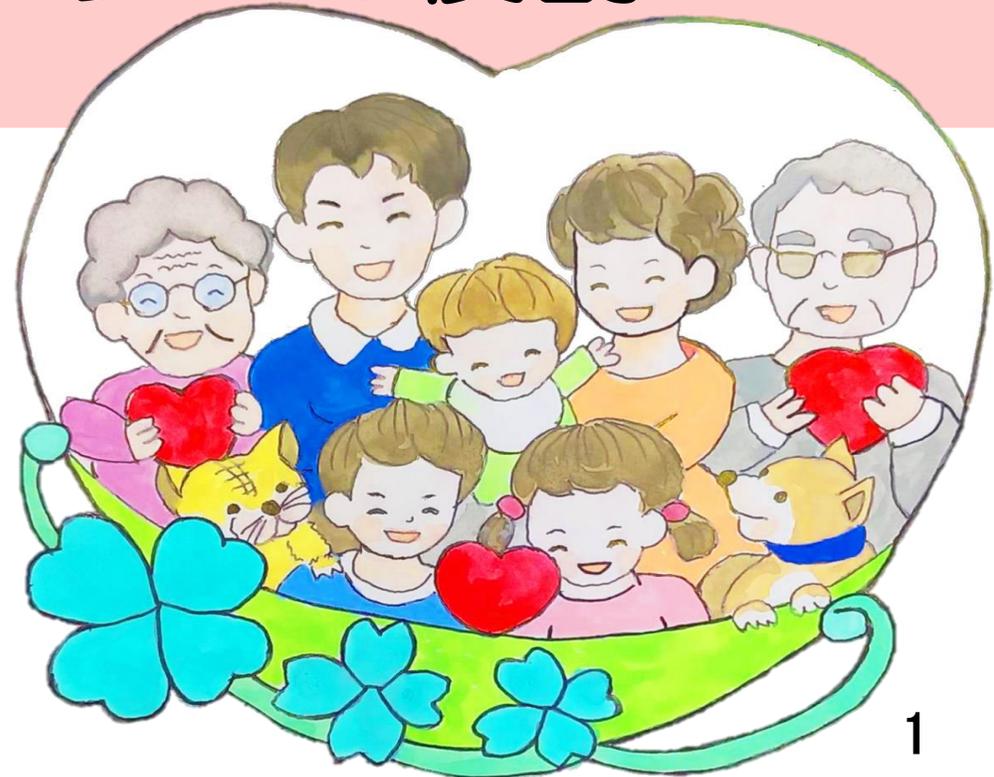


佐倉市社会福祉協議会が取り組む 地域福祉コーディネーターの役割

令和3年9月26日

社会福祉法人佐倉市社会福祉協議会
地域福祉推進グループ 地域共生推進班
地域福祉コーディネーター 細谷 聡美



地域福祉コーディネーター事業がスタート!



1. 令和3年4月から3か年のモデル事業
2. モデル圏域は志津南部圏域
(志津南地区社協、西志津地区社協のエリア)
3. 地域福祉コーディネーターは細谷聡美

令和3年度活動のテーマ



「知ってほしい、教えてほしい、そして一緒に！」

この半年で活動
してきたこと

地域づくり

気づきを地域にフィードバック



地域福祉コーディネーター

住民同士で解決できない
困りごとをキャッチ

新たな取り組み
への伴走支援

地域支援

つながり



1. 地域支援

そもそも…

- ・自治会、民生委員、地区社協、ボランティア団体等が活発に活動している
- ・地域包括支援センター、生活支援コーディネーターが地域に根づいている

一方で、

- ・少し見方を変え、活動に広がりを持たせたい。
- ・コロナを経験し、これから必要とされる地域活動は？
- ・担い手を広げていきたいけど…

1. 地域支援

①周知と情報収集

～足を使って!メディアを使って!～

②西部地域福祉センターを拠点に

～より近くで!より多くの人と!～

③定期的な振り返り

～こんなことがあった!次はこんなこと!～

2. 個別支援

地域活動で出会う

地域活動のボランティアとして活動している女性。

関わりの中から生活の様子が気になり、電話や訪問をするようになる。少しずつ心配事を打ち明けてくれるようになってきた。

コロナや体調のことがきっかけでボランティア活動は休止している。

関係機関からつながる

関係機関から紹介を受けた男性。

仕事と並行して、ボランティア活動にも興味がある。なかなか思うような活動に行き当たらない。話をしていくうちに、仲間（自分の居場所）づくりをしていきたいのでは…と感じる。

住民から直接電話で

自治会の回覧で見た地域福祉コーディネーターのチラシを見て電話をくださる。ご近所の行為で長い間不安を感じている。

情報収集をしていくと、相手の方は何か困りごとを抱えた世帯かもし知れないとわかる。丁寧なアプローチが必要。

3. 課題の共有と参加支援

①個別事例の検討（準備中）

～こんなことがあった…、こんな資源があったら…～

②ボランティアセンターとの連携

～「ちょっと困った」と「できることなら!」の集まる所～

③市社協職員の勉強会

～市社協に地域福祉コーディネーターがいる強み!～

地域福祉コーディネーターとして活動して感じたこと

- ①改めて実感する地域の力!
- ②もっと知りたい!もっと知ってほしい!
- ③多種多様な相談にどこまで関わるか…

心強い地域の力！ ～自治会・町内会・区等～

◆コロナ禍での活動状況

主たる行事として、7月に夏祭り（盆踊り・御輿巡行・打上げ花火）、10月スポレク祭、11月文化祭・秋祭り、元旦もちつき大会の4大行事を計画しました。緊急事態宣言、県内のまん延防止等重点措置の発出、コロナ感染問題で安全・安心の面から著しく予定を変更することになりました。何とか会員さんが元気になってもらいたい、希望を持ってもらいたいとの願いから、10月に「中志津ふるさと祭り」を計画。大抽選会、花火大会を密をさけ実施する予定です。

◆こんな地域にしたい

中志津自治会も本年は創立53年目を迎えました。少子高齢化、住民の微減傾向化、空き家もめだちます。近年夏は猛暑を超え酷暑という異常気象を考えると、夏の行事の持ち方等を含め会員の皆さんから率直な御意見を伺い、今後の自治会活動に生かしたいと検討委員会を立ち上げることにしました。活発な御意見を期待しています。

◆地域福祉コーディネーターに期待したいこと

まずは細谷さんの明るさと人柄はこれからも大事にしてもらいたいですね。自治会・地区社協等が住民のために様々な活動をしています。それぞれの団体のつなぎ役になってもらいたい。また、地域福祉コーディネーターの視点で気づいたことあれば教えてください、生かせるものは住民の為に実行していきたいです。



心強い地域の力！ ～民生委員・児童委員～

◆コロナ禍での活動状況

多くのふれあい事業が中止、訪問活動も自粛となりました。高齢者等の安否確認は電話・チラシ配布・短時間面談等で活動しています。今後、さらに孤立する高齢者や生活困窮者が増えるものと想定されます。新しい生活様式へ創意工夫をし、専門機関や地域福祉コーディネーターに繋がられるよう、情報収集や地域の見守り活動が重要だと考えています。

◆こんな地域にしたい

私のボランティア活動の理想は、自治会町内会を原点として、地区社協・民生委員・地域包括支援センター・各専門機関等との連携を図れる地域づくりです。

◆地域福祉コーディネーターに期待したいこと

町会長を10年前に経験し、民生委員として、地域福祉コーディネーター（案）を市民の声として投稿した経緯があります。毎年、自治会の新会長・役員は相談先が解らず、頭を悩ませましております。今回、この事業の開始に感謝し、連携して行きたいと思えます。地域住民の方とのコミュニケーションを密にし、顔の見える関係を築き、地域・個人の問題を共有し、一緒に考え、各専門機関等に繋いで頂き、市民に寄り添い、地域に根ざした活動を期待します。又、地域の解決困難な事案も数多くあるかと思えますので、コーディネーター細谷さんが一人で悩むことがないように、佐倉市社協組織全体で行政と連携しながら取り組んで頂きたいと思えます。

心強い地域の力！ ～地区社会福祉協議会～

◆コロナ禍での活動状況

サロン活動等の集まる活動はほとんど中止をしています。支えあいサービスは感染対策を十分に講じて、工夫しながらできる限りの活動を継続しています。このサービスは見守りにもなっていると思っています。コロナを経験し、今後はより一層この「見守り」活動が重要になると実感しています。一方、活動する側のモチベーションの維持も課題です。活動ができなくて残念ながら解散となったサークル等もあるようです。福祉委員に対しても地区社協の一員として何か役に立っている！という実感をもってもらえるような働きかけが必要です。

◆こんな地域にしたい

「みんなが知り合いのまち」「みんながここに住んでいてよかったと思える地域」を目指しています。そのための「ふれあい・支えあい」です。皆がお互いを気にかけて、困った時に手を差しのべることができる地域になるといいですね。

◆地域福祉コーディネーターに期待したいこと

地区社協活動だけでは見つけられない課題が地域にはたくさんあると思います。そのような課題やいろんな情報を集めてもらい、地区社協として一緒に考え、活動に活かしていきたいです。また、地域には様々な団体やサークル、専門機関がありますがそこをどんどん開拓してもらい、お互いがつながり・協力し合えるようなパイプ役となってくれることを期待しています。



志津南地区社協 吉森文男会長
西志津地区社協 伊藤泰彦会長

今後に向けて

- ① 「コロナ自粛」でも、今こそ必要な地域活動
- ② 「つぶやき」や「ためいき」を見逃さない
- ③ 地域の声と力をつなぎ合わせる

